

## 穏やかに幕を閉じた2011年 交代したCEOは1,178人で、2004年以来の最低水準に

2012年1月11日(シカゴ)–米国で12月に退任したCEOは83人となり、2011年は減少傾向のまま幕を閉じました。2011年全体で見ると、退任したCEOの数は1,178人となり、2010年に発表された1,234人よりも減少しました。この数字は、グローバル規模でアウトプレースメント(再就職支援)分野のコンサルティングおよびエグゼクティブコーチングを手掛ける米国チャレンジャー・グレイ・クリスマス社が年末に発表したCEO交代に関するレポートによるものです。

2011年の第4四半期合計では、256人のCEOの交代が発表されました。これは前年同期と比較すると19%減で、四半期合計としては、147人ととどまった2004年第4四半期に次いで低い数字です。

業界別に見ると、2011年にCEOの交代が最も多かったのはヘルスケア業界の187人でしたが、前年の201人からは減少しています。第2位は、チャレンジャー・グレイ・クリスマス社の調査によると今年最も多い183,064人の人員削減が発表された官公庁部門で、前年の159人とほぼ同水準の152人が交代しました。

第3位は金融業界で、12月に5人のCEOが交代して、2011年全体では123人となりましたが、前年の124人からはわずかに減少しています。

米国チャレンジャー・グレイ・クリスマス社のCEO、ジョン・A・チャレンジャーは次のように述べています。「金融業界を取り巻く不安定な状況が、ここ2～3年のCEO交代につながっているのは間違いありません。景気の悪化に加えて、政府が救済資金の取り扱いを厳しく監督するようになったことで、多くの連邦信用組合や小規模な地方銀行は、規制を遵守するために新たなリーダーを迎える必要が出てきているのです」

第4位はコンピュータ業界で、12月には7人のCEOが退任し、2011年全体では116人になりました。その中には、ヤフーのキャロル・バーツ氏、グーグルのエリック・シュミット氏、アップルのスティーブ・ジョブズ氏など、著名なCEOが多く含まれています。コンピュータ業界の2011年全体の数字は、91人だった前年と比較して27.4%増となりました。

メディア業界でも、この数ヶ月間に数名の著名なCEOが退任しました。そのうち、ニューヨーク・タイムズのジャネット・ロビンソン氏、トムソン・ロイターズのトム・グローサー氏の退任は12月に発表されています。その他、2011年には、タイムのジャック・グリフィン氏、ガネットのクレイグ・デュポー氏、NPR(ナショナル・パブリック・ラジオ)のピビアン・シラー氏の退任などが発表になりました。

CEOの交代理由については、29%にあたる341人が辞任としています。その他、245人は引退、223人はCEOを退任後、役員に残留しています。

スキャンダルを理由に辞任に追い込まれるなどして交代したCEOは合計で48人に上りました。8月にはバンク・オブ・ニューヨーク・メロンのロバート・ケリー氏が、9月にはヤフーのキャロル・バーツ氏がそれぞれ解任されています。

# # #

## CHALLENGER, GRAY & CHRISTMAS, INC. CEO DEPARTURES REPORT

### 退任CEO数

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
1月	92	139	114	134	113	89	96
2月	103	112	127	114	82	132	92
3月	129	87	103	123	114	119	99
4月	117	115	126	112	78	101	103
5月	120	148	144	115	115	125	103
6月	120	127	105	126	105	107	113
7月	96	118	88	124	126	88	104
8月	116	114	124	144	101	95	104
9月	121	152	112	140	105	111	108
10月	96	122	96	125	89	81	91
11月	118	113	132	104	94	79	82
12月	94	131	85	123	105	107	83
合計	1,322	1,478	1,356	1,484	1,227	1,234	1,178

### 退任CEO数 上場企業とその他組織の比較

	2010年	2011年
上場企業	278	296
その他	956	882
合計	1,234	1,178

### 退任時の平均年齢及び平均在任期間

	平均退任年齢(歳)		平均在任期間(年)	
	2010年	2011年	2010年	2011年
1月	59.0	60.8	8.9	7.6
2月	61.5	61.7	8.8	9.6
3月	59.2	60.0	8.0	7.4
4月	62.1	63.2	9.5	8.1
5月	63.9	55.7	8.5	7.1
6月	63.1	62.4	9.6	8.1
7月	55.8	56.0	8.6	11.9
8月	61.8	59.4	8.3	7.3
9月	51.5	64.7	8.0	5.1
10月	58.0	61.8	9.4	9.8
11月	62.3	58.4	7.0	7.0
12月	58.7	66.7	7.2	7.7
通年	59.8	60.9	8.5	8.0

## CHALLENGER, GRAY & CHRISTMAS, INC. CEO DEPARTURES REPORT

### 業界別の CEO 退任数

	2010 年	2011 年
ヘルスケア	201	187
官公庁/非営利団体	159	152
金融	124	123
コンピュータ	91	116
製薬	53	59
エネルギー	57	58
サービス	66	55
メディア	0	47
娯楽	58	44
電気機器	54	42
小売	32	36
機械	29	33
消費財	18	31
通信	34	26
電気・ガス・水道	16	23
自動車	22	22
不動産	31	20
運輸	36	20
保険	28	18
航空宇宙/防衛	5	17
建築	18	13
食品	26	12
アパレル	7	10
化学	11	7
鉱物資源	6	4
法務	52	3
<b>合計</b>	<b>1,234</b>	<b>1,178</b>

## CHALLENGER, GRAY & CHRISTMAS, INC. CEO DEPARTURES REPORT

### CEO 退任理由

	2010 年	2011 年
辞任	388	341
引退	306	245
降格*	204	223
他社へ転職	128	126
暫定任期満了*	81	92
合併/買収	16	35
社内異動	26	32
解任	26	24
健康	6	11
死去	21	11
スキャンダル	9	10
追放	0	9
倒産	2	6
取締役会の要求	4	5
経済情勢	16	3
公的規制	0	2
廃業	0	2
CEO ポスト廃止	0	1
資金難	1	0
<b>合計</b>	<b>1,234</b>	<b>1,178</b>

\*「降格」は、CEO退任後も役員として組織内に留まったケース。「暫定任期満了」は、前CEOの退任に伴い、暫定CEOとしてその任を引継ぎ、その後、後継CEOが公式に決定したために退任したケース。